

令和4年度 第2回桐生市総合戦略推進委員会 議事要旨

- 日時 令和4年9月13日(火) 午後6時00分～午後7時40分
○場所 桐生商工会議所 6階 ケービックホール
○出席者 29名

【委員】22名

- | | | |
|-------|---------------------------|---------------------|
| 委員長 | 群馬大学 副学長・大学院理工学府 教授 | 板橋 英之 |
| 副委員長 | 桐生市総合計画審議会 副会長職経験者 | 新居 理恵 |
| 委員 | 桐生商工会議所 会頭 | 靱山 和久
(代理：石原 雄二) |
| | 桐生商店連盟協同組合 副理事長 | 茂木 理亨 |
| | 桐生市農業委員会 会長 | 今泉 芳雄 |
| | 桐生広域森林組合 参事 | 栗原 和人 |
| | 群馬県桐生みどり振興局 局長 | 田島 聡緑 |
| | 桐生市立商業高等学校 校長 | 田嶋 正幸 |
| | 桐生信用金庫 専務理事 | 松島 修 |
| | 足利銀行 桐生ブロック統括支店長 | 矢島 雅照 |
| | 群馬銀行 桐生支店長兼桐生南支店長兼あいおい支店長 | 島田 直樹 |
| | 桐生公共職業安定所 所長 | 久保田 政夫 |
| | (株)桐生タイムス社 取締役事業推進室長 | 小澤 義明 |
| | 桐生市区長連絡協議会 第3区長 | 茂木 新司 |
| | 桐生市社会福祉協議会 常務理事 | 大木 茂雄 |
| | (一社)きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長 | 近藤 圭子 |
| | NPO法人キッズバレイ 代表理事 | 星野 麻実 |
| | 桐生市PTA連絡協議会 会長 | 佐藤 勇氣 |
| | 桐生市医師会 理事 | 東郷 望 |
| | 一般社団法人桐生青年会議所 理事長 | 深澤 佑太 |
| | 桐生市婦人団体連絡協議会 体育振興部担当 | 間中 一枝 |
| | 2015年からの生活交通をつくる会 会長 | 佐羽 宏之 |
| <欠席者> | | |
| | 桐生刺繍商工業協同組合 会計理事 | 松平 朋憲 |

【桐生市】7名

- | | |
|---------------------|--------|
| 市長 | 荒木 恵司 |
| 副市長 | 森山 享大 |
| <事務局>桐生市共創企画部長 | 新井 利幸 |
| 桐生市共創企画部企画課長 | 西條 敦史 |
| 桐生市共創企画部企画課企画戦略担当係長 | 森下 英明 |
| 桐生市共創企画部企画課企画戦略担当 | 日浦 弘志 |
| 桐生市共創企画部企画課企画戦略担当 | 伊藤 美和子 |

○報道関係 1社

○傍聴者 なし

○会議内容

1 開 会 [開始：午後6時00分]

- ・事務局から、全員の委員の出席により会議が成立することを報告。

2 挨拶

- ・荒木市長から挨拶。

3 議 題

(1) 各計画の令和3年度評価検証について

①第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ・資料1から3に基づき、事務局から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員長	まず、基本目標1について意見等はあるか。 私から1点伺いたいのだが、K P Iである桐生武井西工業団地の雇用者数について、目標値を下回っているが、今後最後の1社が操業を開始することで目標値を達成する見込みであるという理解でいいか。
事務局 (企画課長)	そのとおりである。また、拡張が予定されている工場もあるため、更なる雇用者の増加が見込まれている。
委員	基本目標が「地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する」となっているが、桐生市には桐生市出身の素晴らしい創業者がたくさんいて、そういった成功した人たちの考え方や経営手法というのも地域資源に入ると思う。その資源がこれから創業を考えている人や若手経営者に継承されていかないともったいないので、そのような仕組みができると非常に良いと思い、意見として述べさせていただきます。
市長	大変貴重な意見だと受け止めている。委員のおっしゃるとおり、地域資源というと、どちらかというと自然、歴史、産業などと捉われがちだが、これから人口が減少し、ダウンサイジングを踏まえた検討をしていかなければならない中では、人が非常に大きなキーワードとなる。成功した方々の考え方を次世代に伝えていくということは非常に大切なことだと思うので、何らかの形で反映できるよう、これから検討してまいりたい。
委員	K P Iの認定農業者数について、先ほどカウントの仕方が変わったという説明があったが、カウントの仕方を途中から変えてしまうと分かりづらくなってしまいますので、もし変えるのであれば、目標値も含めて実績値に則した形で見直した方がいいのではないかと思います。 また、達成か未達成か、0か1しかない表示方法だとモチベーションがなくなってしまうので、どのくらい達成したかという表記にした方がいいと思う。

事務局 (企画課長)	目標値を修正するというのは、なかなか簡単にできないところがあるが、今後検討してまいりたい。
委員長	例えば、旧カウント方法での数値を括弧書きで示しておいて、前年度と比較できるようにするような方法はいかがか。
事務局 (企画課長)	その可能性も含めて検討してまいりたい。
委員長	あと、達成か未達成かのための標記ではなく、達成率何パーセントというふうに表示することについてはいかがか。
事務局 (企画課長)	評価に関する表記についても、指標と併せて今後検討してまいりたい。
委員長	<p>それでは次に、基本目標2について、何かご意見等はあるか。</p> <p>数値目標の社会増減数について、転出者が減少したが、転入者がそれ以上に減少してしまったという説明があったが、転入者と転出者の記載もあると比較できて分かりやすいと思うが、いかがか。</p>
事務局 (企画課長)	今後の資料の見せ方として検討してまいりたい。
委員長	<p>それでは次に、基本目標3について、何かご意見等はあるか。</p> <p>KPIである市が支援する婚活イベント等におけるカップル成立数について、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが開催されなかったとあるが、若い世代はオンラインで色々できるので、実際に会わなくても、オンラインで何かできるといいと思うが、いかがか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>コロナ禍の中では、オンラインも有効な手段であり、検討してまいりたいと考えているが、やはり結婚となると、実際に会って人柄などを見極めることも大切になってくる。そのような中、今年度になって、黒保根町の地域おこし協力隊が黒保根町で婚活イベントを行ったほか、桐生商工会議所においても婚活イベントを再開予定である。今後、コロナの状況を見極めながら、このような活動がどんどん拡大できるよう支援してまいりたい。</p>
委員長	コロナ禍であっても、是非そのような機会をたくさん作っていただきたいと思う。
委員	<p>桐生商工会議所の婚活イベントは、青年部が主催しており、10月8日(土)に桐生市青少年野外活動センターにてアウトドア婚活を行う予定である。両毛六市の商工会議所と連携して婚活イベントを展開している中、中心的存在であった太田市商工会議所がコロナの影響で中止になったが、桐生市商工会議所は開催できるよう頑張っているところなので、ご協力いただけたら有難い。</p>

<p>委員長</p>	<p>桐生市は、キャンプやグランピングなど、若者に人気で、かつコロナの影響を受けにくいようなイベントができると思うので、是非よろしく願いたい。</p> <p>私からもう1点よろしいか。</p> <p>アンケート調査の結果を用いている指標について、調査の都度向上と目標を設定しているが、例えば前年度の結果が90%以上とか高い数値だと、それを上回るのには厳しいのではないかと考えるが、いかがか。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>委員長ご指摘のとおり、実際に評価を行う中で我々も強く感じているところである。今後、次期総合戦略を策定する際によく検討してまいりたい。</p>
<p>事務局 (共創企画部長)</p>	<p>総合戦略の趣旨からすると、数値目標やKPIを下方修正することは簡単にはできないのではないが、委員長のおっしゃるように、表記の仕方を工夫することはできるので、今後検討してまいりたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>是非願いたい。</p> <p>続いて、基本目標4について、何かご意見等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、目標は簡単に変えられないという話があったが、新型コロナウイルスの影響で環境が大きく変わってしまったものについては見直すべきだと思う。例えば、観光入込客数や観光消費額については観光の在り方自体が変わっており、このように特定の環境が大幅に変わってしまったものについては、目標値を見直さないと、実績値と比較しても意味がなくなってしまう。</p> <p>また、アンケート調査の結果を用いている指標など全般に関わるが、アンケートの回答者は同じではなく、また、人によって価値観は違うため、あまり意味がないように思えるので、見直した方がいいと思う。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>新型コロナによる影響は全国の自治体で起きているので、国や他自治体の状況を勘案しながら検討してまいりたい。</p>
<p>委員</p>	<p>公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数について、目標値23に対して実績0となっているが、0か23のどちらかしかないのか。</p> <p>市民1人当たりの施設の延べ床面積が同規模の自治体と比べてかなり多く、行政の財政を圧迫している中で、待たなしの状況である。そのような中で、策定数が0というのは理解が難しいので、経緯と今後の予定をお聞きしたい。</p>
<p>事務局 (共創企画部長)</p>	<p>桐生市の施設の中で、桐生市が所有しているが、みどり市の委託を受けて共同で事業を実施している共同事業施設という施設が4つあり、清掃センター、斎場、消防施設、し尿処理施設がこれに当たる。この4つの共同事業施設について、桐生市とみどり市の間でどのように運用していくかという結論が出ないと公共施設全体の方向性が出せないで、個別計画の策定数が0ということに</p>

	<p>なっている。このことについては、みどり市との桐生・みどり未来創生会議の中で協議を始めており、両市にとってより良い形になるような結論を導き出したいと考えている。結論が出次第、すぐに個別計画の策定に着手する予定である。</p>
委員長	<p>地域連携の推進と交通基盤の整備ということで、J S T（国立研究開発法人科学技術振興機構）の協創の場形成支援プログラムというものに群馬大学と桐生市で共同申請し、一次審査を通過してヒアリングを行われたところであるが、もし採択された場合大きな予算がつくので、地域連携の推進と交通基盤の整備というところで何か連携できたらいいと思う。今回申請したのは、遠隔操縦による運転で交通弱者の方たちの移動をできるようにしようというもので、その拠点を桐生に作り、桐生をモデル都市にするという、とても夢のある内容になっているので、採択された際にはよろしくお願ひしたい。</p>

(1) 各計画の令和3年度評価検証について

②桐生市過疎地域持続的発展計画

- ・資料4に基づき、事務局から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員	<p>行政が実施したことが書かれているが、市民が何をしたか、何をしなければいけなかったのかというところが全然書かれていない。結果を出すには市民の行動変容が必要で、そこに強力に働きかけるようなことをしなければならないと思う。</p>
委員長	<p>文部科学省のDESIGN-iという事業で梅田町において低速電動バスMAYUを使って実証実験を行った時に、住民の方々が次世代モビリティの推進協議会を立ち上げ、自分たちでMAYUを運行するという計画を立ててくれた。住民の方たちに協力を依頼して、住民の方たちが自ら動けるような取組を推進していけば活性化につながるのではないかと思う。</p>
事務局 (企画課長)	<p>過疎計画については、12分野それぞれについて、現況と問題点、その対策を示す構成になっており、実際どのようなことをしたかということで評価を実施した。委員ご指摘のことについては、過疎計画だけではなくて全ての計画の中で検討されるべき内容だと考えている。</p>
市長	<p>新過疎法において旧桐生市が指定されたのは、平成29年度までの人口減少率と財政力指数が要件に該当したからである。旧過疎法と新過疎法には大きな違いがあり、旧過疎法は、過疎地域の自立支援を目的としているのに対し、新過疎法は、東京一極集中の中で、地方を1つのモデルケースとして、持続的発展を支援していくことを目的としており、前向きに捉えて進めていかなければならず、その大前提として桐生の特色を前面に打ち出していかなければならないと考えている。</p> <p>人口減少は避けられない中で、減った人口の中でどういうまちの姿を作り上</p>

	<p>げていくかというのも同時に考えていかなければならず、また、資料を見て非常に厳しい状況であることを再認識したので、もう一度気を引き締め直して、委員の皆様のご意見を伺いながらしっかり取り組んでまいりたい。</p>
委員長	<p>過疎を否定的に捉えるのではなく、ゆったりと暮らせる所として、その中で一人ひとりが、それぞれの立場から何ができるのかということをも自分事として捉え、考えていかないといけないと思う。</p>

(2) 人口減少対策に関する提言書について

- ・資料5に基づき、ワーキンググループ委員長である新居副委員長から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員	<p>大変素晴らしい内容だと思った。新しい地域に住むときに、何となく入りにくい雰囲気があるというのは、私自身が他の地域に引っ越した経験からも感じており、桐生だけではなくて全国共通だと思う。</p> <p>そこで、思ったことを述べさせていただくと、例えば、子育てをしやすいまちにするとしたときに、行政が担う部分もちろんあると思うが、その地域で会社を営んでいる人たちが、産休や育休制度を充実させて、男性含め社員にしっかり取得させていくとか、そのような民間の協力も必要だと思う。</p> <p>また、起業希望者や店舗開業希望者、就農希望者をメインターゲットとすることは、桐生らしくて大変素晴らしいと思うが、起業・開業した後のサポートが非常に大切だと思っていて、経営ノウハウをコンサルティングしたり、事業計画作成の伴走支援をしたりするような、起業・開業した人が継続してこの地域で事業を行っていきけるような仕組みが必要だと思う。</p> <p>これは行政だけではなくて、民間全体の協力が必要ではないかと考えている。</p>
市長	<p>コロナ禍の中、各金融機関を訪問し、現状や事業承継も含めた経営について、金融機関の皆様からお話を伺わせていただいたが、本当に貴重な意見であったので、行政としてしっかり受け止めて施策に反映していかなければならないと痛切に感じている。特に素晴らしいと思ったのが、毎日お客様のところへ訪問し、コロナで苦しんでいる方々の相談に乗っているということで、こういった窓口はとても大切であり、行政もしっかりとやっていかなければならないと強く感じた。今後についても、地域経済の発展という中では、各業界の皆様の声聞き、状況を把握しながら、行政としてしっかりと取り組んでまいりたい。</p>
委員長	<p>ワンストップ窓口は非常に大切だと思う。群馬大学においても、学生がどこに聞けばいいかわからないということがあるので、大学内にワンストップ窓口を設置したところである。</p>
委員	<p>本日、商工会議所の建設部会があり、商工会議所から桐生市へ提出した提言書に対する回答が市からあった。提言の中にインキュベーション工場の話があ</p>

	<p>り、工場スペースを所有していて貸したいという人に対する仕組みを作らないと、なかなか借りたい人がいても貸せないで、そのような仕組みを構築したらどうかという提言であったが、担当部局からは、市内にはそのような考えを持っている人がいないので難しいという回答があったとのことである。</p> <p>もし本当に市民の意識がそうなのだとしたら、ワンストップ窓口でコーディネーターを配置したとしても、なかなか難しいところだと思う。先ほども市民の行動変容の話をしたが、市民にそういう仕掛けを作らせるような働きかけをする取組を併せてやっていかないと、外から来た人を受け入れることが難しくなってしまうと思う。先ほどの過疎の話でもあったが、人口が減っても豊かに暮らせるまちづくりが目的であるので、そのためのストーリーみたいなものを示して、ここで何かやりたいという人を受け入れる仕掛け作りが重要なのではないか。</p>
事務局 (共創企画部長)	<p>本市においては、企業や民間団体などの動きは非常に活発であり、先進的なことをしていただいていると思っているが、行政と民間との間で有機的に連携されていない部分があり、その連携が進められれば更に活性化につながると思っている。</p> <p>そのような中、このワンストップ窓口は、移住者と行政との間だけではなく、企業や民間団体などの様々な活動のハブになることを考えている。そのことによって、これまでも多くの様々な活動がされてきたが、それが1つの方向に向かうことによって、より力を持って桐生の活性化につながると思うので、委員のご意見も含めて生かしてまいりたい。</p>
委員	<p>私もワーキンググループに参加させていただき、皆で話し合っこのワンストップ窓口の設置ということになったが、ワーキンググループのメンバーの力だけでは絶対にできなくて、この委員会の産官学金労言等の皆様の力が必要となる。窓口設置が実現された際には、皆様からの助言や協力をいただくと、コーディネーターが動きやすくなってより良い事業となると思うし、やる気のある人達がたくさんいるので、是非温かい目でご協力いただきたい。</p>
委員長	<p>それでは、資料のとおり、「人口減少対策に関する提言書」を決定し、本委員会から市長に提出させていただくということでよろしいか。賛成の方は挙手をお願いします。</p>
	一同挙手
委員長	<p>全員一致で本件は可決された。</p> <p>ただ今決定された提言書は、本委員会を代表して、私から市長に提出させていただきたいと考えており、日にちは9月16日(金)、その際にはワーキンググループのメンバーにも同席していただきたいと考えているが、よろしいか。</p>
	一同承認

委員長	それではそのようにさせていただきます。 本日の議事はこれで終了したので、議長の任を解かせていただく。
-----	---

(3) その他

- ・総合戦略を推進する上での自由意見等はなし。

4 その他

- ・企業版ふるさと納税パンフレットに基づき、事務局から企業版ふるさと納税について説明。
- ・事務局から、次回の開催予定について事務連絡。

5 閉会 [終了：午後7時40分]